

各地区業況アンケート結果（2021年2月調査分）

（2021年2月24日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、2月22日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ79名の回答があり（回答率56.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = $(A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 6割以上の企業が前年割れ

問1】貴社の1月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	6	6	16	18	32	78	78
比率	8%	8%	20%	23%	41%	DI-82	DI-59
売上金額/前年同月比	5	7	17	16	34	79	79
比率	6%	9%	22%	20%	43%	DI-85	DI-73

2. 約4割が赤字

問2】貴社の1月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	16	17	15	17	14	79	80
比率	20%	22%	19%	22%	17%	DI+5	DI+10

3. 自動車向け以外は減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て2月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		6	31	12	6	55	-33	-36
民間建設向		7	25	18	13	63	-59	-56
自動車向	1	6	25	6	1	39	±0	-13
その他需要家向		10	29	19	6	64	-33	-34
仲間取引	1	5	28	23	11	68	-56	-48
計	2	34	138	78	37	289	-39	-40
比率	1%	12%	47%	27%	13%			

4. 今後あまり期待できず

問4】貴社における向う3月から5月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	17	32	21	7	78	76
比率	1%	22%	41%	27%	9%	DI-21	DI-33

5. 薄中板、非常に不足

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	品種別	A	B	C	D	E		2月
DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI												
-21	-25	-31	-32	-38	-24	-25	-4	0	-7	-10	-7	3	鉄筋用丸鋼		3	26	2	1	32	-3
-29	-17	-27	-32	-26	-35	-38	-17	-15	-16	-10	-11	0	構造用丸鋼		1	25	2		28	-4
-12	-6	-17	-26	-23	-25	-23	-14	-9	-13	-15	-6	-3	平角鋼			32	1		33	-3
-16	-30	-13	-31	-30	-20	-19	-4	-3	0	-3	20	12	H形鋼	1	5	28			34	21
-16	-28	-36	-29	-38	-38	-41	-33	-29	-21	-20	-13	0	コラム		4	20	1		25	12
-16	-17	-18	-16	-24	-34	-29	-14	-12	-9	-15	-9	-6	小形山形鋼			33	3		36	-8
-30	-24	-24	-25	-33	-30	-26	-10	-12	-12	-14	-9	-6	中形山形鋼			31	4		35	-11
-26	-20	-24	-32	-39	-40	-27	-18	-12	-13	-17	-13	-3	溝形鋼			31	4		35	-11
-26	-20	-24	-18	-21	-30	-27	-27	-17	-23	-16	-11	7	軽量形鋼C形		1	25	3		29	-7
-26	-15	-15	-17	-26	-21	-25	-25	-16	-26	-22	-11	5	軽量形鋼広巾			18	1		19	-5
-61	-58	-58	-71	-65	-70	-57	-58	-41	-3	10	35	108	冷延薄板	14	14	5			33	127
-55	-55	-56	-73	-58	-71	-64	-54	-35	0	31	58	105	熱延薄板	10	17	8			35	106
-63	-68	-66	-76	-64	-62	-53	-57	-34	13	23	34	114	表面処理鋼板	17	14	2			33	145
-64	-65	-70	-85	-77	-78	-80	-67	-47	18	34	75	127	酸洗鋼板	20	12	4			36	144
-56	-51	-49	-64	-61	-71	-46	-49	-22	15	18	49	89	中板	10	19	13			42	93
-49	-44	-63	-63	-72	-60	-46	-52	-41	-8	-8	15	33	厚板	2	14	26			42	43
-29	-47	-50	-26	-25	-29	-29	-42	-40	-11	-18	-9	0	極厚板		4	15		1	20	10
-25	-18	-20	-32	-21	-33	-26	-24	-21	-10	0	0	6	縞板		7	23	1		31	19
-28	-32	-30	-39	-38	-45	-36	-33	-26	-20	-15	-9	8	中径角		4	28	2		34	6
-18	-20	-20	-24	-27	-21	-22	-23	-19	-23	-11	-3	-3	ガス管黒			34	2		36	-6
-17	-21	-20	-27	-27	-23	-29	-19	-18	-18	-16	-6	-5	構造用鋼管		2	30	2		34	0
-33	-32	-35	-40	-41	-41	-37	-31	-22	-8	-3	9	31	計	74	121	457	28	2	682	35

6. メーカーの大幅値上げで価格転嫁に苦慮

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	(形鋼) 荷動きは昨年と比べて低調に推移している。値上げも段階的に進めている。しかし、需要がない中で大幅値上げをお願いすることは非常に難しい。ここへきて来年以降の大型物件の材料問合せが増えている。
	B	北海道の需要環境としては一番の閑散期。その中で異形丸鋼をはじめ各品種の大幅値上げ。需要家への価格浸透を冬場に進め切らないと大きな減益になる。
	C	荷動きは非常に悪く、物件も少ない。現状の品薄感はないが、これから品薄になるのが心配。
	D	新規物件の話はほとんどなく、特に民需の落ち込みが激しい。スタートの遅い年になりそうである。
東北	A	今年に入り激減、客先の要望も厳しく、我慢の商売が続く。
	B	地元、公共工事は減少しており、民間需要が若干見込める状況で先行き不透明感が強い。鋼材の値上げもすべて転嫁できていない状況で厳しい1年になりそう。
新潟		中板、薄板はナイモノ高の品薄で入荷未定が続いている。値上げ幅が非常に大きいのでお客様には早めのアナウンスを意識している。

新潟	B	薄板3品、鋼板類の入荷が厳しく、仕入も非常に高い。価格転嫁に問題あり。徐々に荷動きが鈍くなっている。
	C	見積りも少なく、日々、値上げのアナウンスが仕事である。
	D	建築物のない中、メーカー値上げに対するユーザーへの価格転嫁が難しい。
	E	鋼材価格の先高からか季節物の手当がいつもより1～2ヶ月ほど早まっている。
	F	年明けから寒波や雪害の影響を加味しても荷動きは一段と悪くなった。物件の工期遅れも顕著になってきた。そこに鋼材価格の値上げが加わり、厳しいスタートである。
	G	薄板各品種はさらに在庫圧縮となり枯渇状態が続いているため足下の品薄感と先々の値上げ環境から一部では価格より供給を最優先してほしいとの声も聞こえる。ただ、厚板に関しては、需要に盛り上がりを欠き、メーカー値上げピッチと市況にギャップがあり苦戦も強いられている。
	神奈川	A
B		需要の方は変化ないが、製造メーカーの値上げが大きいため遅れを取らないように価格改正が必要。メーカーはコイルの手当が厳しい状況になってきているので、先行きの需要が増えることになれば品不足が起こるかもしれない。
東京	A	いよいよ薄板入手困難。客先では材料の確保ができてから新規受注している。今週は冷延鋼板1.6×3×6が2週間も欠品する事態となっている。冷延、酸洗、表面処理、Hotともに荷繰り困難となっている。
	B	鉄筋の店売りの動きは低位、横ばい。店売りの建値は8万円。先行きは見通せないが、考えながら商売していく。
	C	設備投資策が出るような需要喚起政策を行政に訴えてもらいたい。全鉄連は何をやるべき団体なのかを問わなければならない。行政へ働きかけているかどうかを常にチェックしていかなければならないのではないかな。
	D	切板価格は横ばいのまま、母材の仕入は上がってきている。どのタイミングで需要家に大幅値上げを呑んでもらえるかが今の課題。
	E	鋼材の値上げに見合わなければ受注状況で非常に厳しい月となった。取引先在庫をはげさせている現状が続く、弊社への需要が回ってくるのは年度明けになるだろうと予測される。
	F	(店売り関連)メーカーのタイト感、納期遅れもあり、市中調達の恩恵も受け前年同月トントン。(需要家関連)一部の建設機械の生産の持ち直しもあり、前年同月比やや増加。
	G	昨年秋口より様子に変化せず、実需の部分はいまだ芳しくない雰囲気がある。仲間商売の部分でないもの探しは活発に電話は常に鳴っている。価格はないもの高が相まって一時的に店売りとしては順調な上昇基調ではないかな。
	H	薄板材は熱延から表面処理に至るまですべての品種で不足しており、物が無いから販売できないケースが増えている。ただ当社の需要分野である建材向けがこれまでも、この先も低調である見込みなので、材料さえ出てくれば、この現象は一気に解消するものと思われる。また、販売先は中小零細企業が多く、どこまで値上げに耐えられるか企業体力が続くか不安である。
	I	例年、年度末の仕事は1月下旬から出てくるが、今年は2月に入っても動きが鈍い。このまま低調に推移するだろう。
	J	冷延薄板の需給が非常にタイトである。
静岡	A	薄板の需要は自動車関連以外盛り上りがない。入荷の悪さからデリバリーが極めて煩雑になっている。仕入コスト上昇分の転嫁も「コストが上がる、材料がない」では営業活動はいつもの事ながら厳しい。形鋼類のコストアップ転嫁は徐々に浸透しているが、上げ幅に差がありメーカーレベルまでには時間が必要。建築は年明け以降、大型案件に動きはあるが中小案件は少なく厳しい状況は変わらない。

静岡	B	コロナ禍の影響をダイレクトに受けている鉄骨ファブはない様だが、わからないのが実情。仕入先などの面会面談を禁止している大手流通が大半。市中相場は予知したかのようなのだが、大中小各流通ともに各営業担当地域への支持は厳しさを増しそうである。コロナ禍収束に向けてワクチン接種、マスク着用など工事現場、工場内、運送ともに意識改革は共通必至。マスク着用しないと入場禁止のユーザーが増えている。コロナ禍関連で建築業者の不良債権の記事あり。引合い、見積りなどはあるが、先に進まない状況。メーカーのやり過ぎである。色よい返事は決算期を控えてなのか皆無である。
石川		モノ造りはようやく回復の兆しあり。建築は業種によって増加、特にドラッグストア、物流施設は減少なし。土木について河川、道路は横ばい。国土強化物件は当地区において目立った様子はないが、他の業種に比べてはまだあるように見える。もっと積極的に財政出動を出してほしい。高炉メーカーの値上げは悪くないが、現物が少ないので下界は少々慌て気味だが、いつものことながらこの作戦を使わないと現物は戻らない。要はメーカー側が外国材の動きを見ながら造り過ぎないことである。
富山		正月明けから1週間豪雨続きで、都合2週間仕事にならなかった。さらに仕事が減少する中、売上が半減する企業が多かった。仕事が減少したうえ、薄板が不足気味で綱渡りの続いている品種もある。ZAM等は2月に製品の欠品が発生している様子。
岐阜		当店のように小規模業者はユーザーとメーカー（大問屋）の間にはさまれて大変である。他地区からも大手材料屋がせめてくる。多少、品不足でおとなしくなっているようだが。売上拡大、支店増強していくと本丸はある程度の利益を守り開拓先の地域を砂漠化していく。このやり方以外の方策はないのだろうか。ないからずっとこれ一辺倒なのだろう。
大阪	A	スクラップ高によるメーカーの大幅値上げにより流通は仮需、先行手配があったが、1月中旬以降、荷動きは低調となってきており、小口当用買いになっている。販売価格を押し上げていかなければならないが、土木はよいが、建築関係が低調なため荷動きが悪く値上げ分の価格転嫁途中で環境が悪くなってきており、各流通とも相当苦勞している。
	B	例年ほどの需要はないが、材料のタイト感が異常であるため忙しく感じている。需要は前年比80～90%程にもかかわらず、それにも対応できない程、市中はタイトであり、スポット購入は足下入荷する先物よりキロ20円の高値でしか拾えない状況。
兵庫		メーカーの急激な値上げと受注量の制限。ここへきてスクラップ価格が急下降。価格以上に先々の自社在庫の確保への不安が残る。
岡山		1月は悪かった。過去5年平均と比べて25%ダウン。仕事をもっているお客様からは在庫を枯らすなど言われている。他社を見ながらメーカー値上げ分を転嫁しなければならないので頭が痛い。
香川		中小鉄骨物件が極端に少ない。ファブ向けの荷動きが悪い。土木も年度末に近づき落ち着いた動きになっている。今年前半は同じような状況が続くと思われる。直近のスクラップ下落で価格上昇の動きが弱まったようだ。
北九州		高炉品種、特に薄板三品在庫はタイト。電炉品種については、2月中の中国の動いとスクラップ価格に注視していく。しかしながら電炉メーカーも3月までは下げたくないだろう。
福岡		需要減退の中、ユーザーの稼働率は格差があり、この状況は夏頃まで続く見通し。この様な状況下、メーカー値上げを受け、市場への浸透を図っているが受注環境が厳しいだけに交渉は難航する場面も想定される。